

令和5年10月 27 日

報道関係者 各位
PRESS RELEASE



子育て世代の転入超過が2年連続で県内1位 ～上半期(4月～9月)も2年連続で転入超過に～

紀の川市では、若者世代^{※1}が進学や就職を機に市外へ転出することが多い一方で、子育て世代^{※2}は転入超過^{※3}になる傾向が見られています。(別添資料 図①)

近年は、子育て世代の転入超過数が増加傾向にあり、紀の川市は**2年連続で子育て世代の転入超過数が県内で1位**になりました。

表1. 県内子育て世代の転入超過数(1月～12月) (人)

順位	令和2年		令和3年		令和4年	
1位	上富田町	71	紀の川市	172	紀の川市	182
2位	岩出市	68	岩出市	168	上富田町	78
3位	日高町	50	上富田町	98	海南市	63
4位	橋本市	38	有田川町	77	岩出市	61
5位	紀の川市	34	日高町	63	橋本市	53



出典：総務省統計局『住民基本台帳人口移動報告』より

さらに、最新の状況として、上半期(4月～9月)を対象とした社会動態(転入と転出の差)を見ると、**2年連続で転入超過**になりました。今年度も、子育て世代の転入超過が続いていると考えられます。(別添資料 図②)

このような傾向が見られるのは、紀の川市がこれまで取り組んできた子育て政策や移住定住促進等の効果が表れてきているためだと考えられます。

紀の川市は、政府が掲げる「**こどもまんなか社会**」の実現に向け、子育てにやさしいまちとして、更なる取り組みを推進していきます。

【本件に関する問い合わせ先】

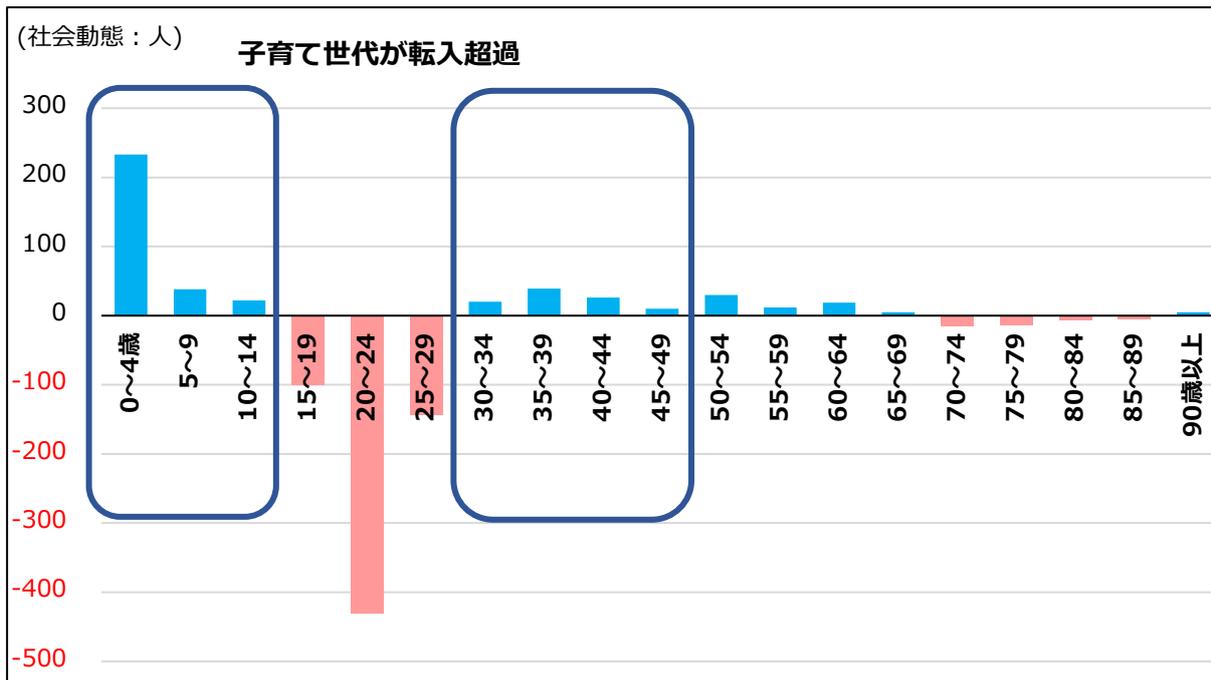
和歌山県 紀の川市役所 企画部企画経営課 担当:栗本、森本

TEL:0736-77-2511 FAX:0736-77-4910 E-MAIL:k030600-001@city.kinokawa.lg.jp



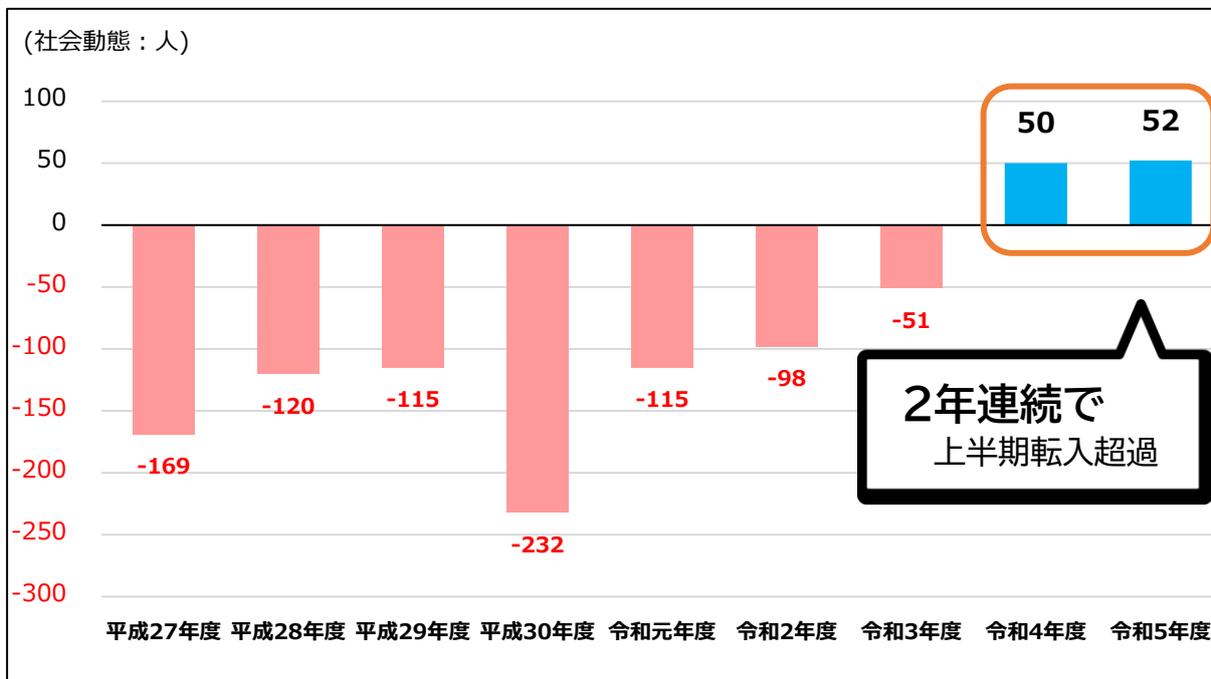
【注意】資料に記載されているデータは、企画経営課が独自に集計したもので、他で公表される数値と異なる場合があります。

図①. 年齢別 社会動態 (1月～12月)



出典：総務省統計局『住民基本台帳人口移動報告』より
 (※令和2年～4年の数値を合計しています)

図②. 上半期 社会動態 (4月～9月)



出典：紀の川市『住民基本台帳』より

- ※1 若者世代・・・10代後半から20代の年代の合計。
- ※2 子育て世代・・・子供(0～14歳)と主に親世代(30～40代)と考えられる年代の合計。
- ※3 転入超過・・・転入数が転出数を上回っている状態のこと。

【注意】資料に記載されているデータは、企画経営課が独自に集計したもので、他で公表される数値と異なる場合があります。